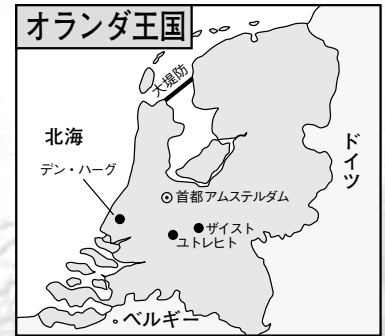


町民8人がオランダ訪問

異国の文化に驚きと感動



ライスやホストファミリーなど関係者二十七人が出席。団員との親睦を深め、友好の輪をさらに広げました。

十七日からはデン・ハーグ市やアムステルダム市を視察。美術館や生花市場などを見学し、オランダの歴史や文化、産業について理解を深めました。

参加した皆さんはオランダの文化や人々の温かさに触れ、国際交流の意義や素晴らしさを感じた研修であったようです。

参加した方々から感想が寄せられましたので紹介します。



国際交流通じ町の発展に協力したい

団長 伊藤 敏さん(豊間根・49歳)

ザイスト市への表敬訪問や日本大使館の小池大使との会談など、非常に充実した8日間でした。ザイスト市では行政と民間団体が役割分担をし、合理的かつローコストで町づくりを行っており、非常に驚かされました。今回の貴重な体験を町長が掲げる「小さくてもキラリと光る町づくり」に生かし、山田町がより一層発展するよう、山田町日蘭交友会の会も町と一丸となって国際交流に取り組んでいきたいと思ひます。

「殻付きカキ」に親近感を覚えた旅

菊地 和 三さん(織笠・62歳)



オランダでも山田と同じく生食用の殻付きカキが採れるそうで、「クローズ」と呼ばれ世界でも有名であるとのこと。アムステルダム市の青空市場やホテルのレストランなど、至る所で殻付きカキが取り扱われていて、同じ殻付きカキの産地の住民として9千*離れたこの地に非常に親近感を覚えました。この研修を機会に、町の発展のため、自分なりに少しでもできることを協力していきたいです。



研修で学んだこと 今後に生かしたい

佐藤 典子さん(長崎・60歳)

ザイスト市では、街の景観を乱さないように建物を建てる時に高さや材質などが規制され、街路樹が立ち並び美しく整備されています。街の環境整備は水害から街を守るため、昔から市民が力を合わせて行なってきました。そのため、市民のつながりが非常に強く、とことん話し合いの上で決めて行く姿に非常に感心しました。山田がより良い町になるよう、研修で学んだことを、今後の日々の生活に役立てていけたらと思ひます。

自由な休日を送る 文化の違いに驚き

佐藤 充さん(豊間根・50歳)



オランダの国で一番驚いたのは、日曜日には大半の店が休んでしまうということでした。日曜日は家族で教会へ行ったり、サイクリングを楽しんだり、自由な休日を過ごすのが当たり前だそうです。花が少ない2月に行きましたが、家々の窓辺には花がきれいに飾られていて、花が咲き誇る春先の様子が想像できるようです。今後はホフライスの方々とより親密な交流をし、国際交流の町として発展することを願っています。



ザイスト市役所の表敬訪問の様子

研修初日の十五日には、ザイスト市で民間交流団体「ホフライス」との意見交換会が行われ、今後の両市町の交流の在り方について意見を交わしました。

翌十六日、一行はザイスト市役所を表敬訪問。行政と民間団体が一体となったオランダの行政運営の仕組みについて学習しました。また、ミルトホフ老人ホームでの研修では、充実した設備や医療介護などのサービスに、オランダの高齢者福祉への意識の高さを学びました。その夜、交歓交流会が行われ、ホフ



友好の輪を広げた交歓交流会

山田の素晴らしさ 見詰め直す機会に

齋藤 勝 俊さん(豊間根・47歳)



今回初めてヨーロッパに行きましたが、アムステルダム、ザイスト両市内の街並みは、伝統ある建物が整然と並び、道路には石畳が敷かれ、まるで中世にタイムスリップしたようでした。この素晴らしい街並みは、オランダの人達が自分の街の美しさを理解し、その伝統を守り続けてきた努力の結晶だと思ひます。今回オランダに研修に行ったことで、外から山田を見詰め直し、良い所を発見しようと思ふ良い機会となりました。



初めてだらけの旅 貴重な体験でした

福士 愛子さん(大沢・21歳)

今まで国際交流というものをほとんど知らずにいて、今回の研修は緊張と不安の中で出発しました。見学したミルトホフ老人ホームはとても立派で、思わず若くても入りたくなるほどでした。日本でもこのような施設ができればいいと思ひます。コニーさんの家でホームパーティーを初体験し、とても楽しかったです。この旅は見る物すべてが初めてばかりで非常に充実した8日間でした。とても貴重な体験ができたと思ひます。

22日に報告会を開催

今回海外研修に参加した方々の報告会が開催されます。団員の皆さんによる体験報告や意見交換、写真やビデオを使った現地での活動内容の紹介などが行われます。どなたでも参加できますので、どうぞお気軽にお越しください。

▷期日 3月22日(月)

▷時間 午後6時半～9時

▷場所 町中央コミュニティセンター

▷問い合わせ 役場総務課(☎82-3111内線416)へ。



オランダの高齢者 福祉の充実に感心

菊地 大比子さん(織笠・61歳)

オランダでも日本と同じように高齢化が進んでいて、ザイスト市では人口の18%が高齢者であるそうです。わたしは市内の高齢者施設を見学しましたが、施設やサービスの充実ぶりに驚きました。まさに素晴らしい一言に尽きる内容で、入所している方々が楽しそうに歓談している姿が印象的でした。施設の運営方法については複雑で短時間では理解できなかったのですが、これから機会を見つけて勉強していきたいです。

オランダでの通訳 とても良い経験に

通訳研修生 今村 里見さん(大沢・28歳)



今回は通訳研修生として参加しました。現地の通訳者の仕事ぶりを目の当たりにし、緊張しましたが、何とか伝わるよう努力し、研修を無事終えることができました。不安だったホームステイもホストファミリーと十分にコミュニケーションができ、大変良い経験となり、自分の夢に半歩でも近づけたような気がします。今後も日蘭交流がさらに発展していくよう、わたしも通訳などで少しでもお手伝いできたらうれしいです。

♣主な研修日程

〔2月〕

期日	内 容
15日	ホフライスによる歓迎交流会、ザイスト市内視察(ピラミッド、ザイスト城)、ホフライスの意見交換会
16日	ザイスト市役所表敬訪問、クリスチックカレッジ訪問、ミルトホフ老人ホームでの研修、文化センター・パイプオルガン工房の視察
17日	在蘭日本国大使館表敬訪問、デン・ハーグ市内視察(マウリッツハイス美術館、マドロダム)
18日～19日	アムステルダム市内視察(ゴッホ美術館、国立博物館、アールスメール生花中央市場、アンネ・フランクの家)、コンサートヘボウホールでの音楽鑑賞、大堤防視察